

令和4年第6回教育委員会定例会 会議録

日 時 令和4年6月28日(火曜日)午後1時30分～午後3時45分

場 所 北栄町役場 第1委員会室

出席者 北野昭雄教育長、光村哉智代委員、徳岡幸裕委員、竹信純一委員、吉田由香里委員

説明等の出席者 中原教育総務課長、前田生涯学習課長、田中図書館長、渡辺中央公民館長、西村参事、
竹内室長、妙泉指導主事、奥田室長、福田室長、崔 SSW

会議の要旨

(開会)	午後1時30分
北野教育長	令和4年第6回教育委員会定例会を始めさせていただきます。 2 会議録署名委員の指名をお願いします。
事務局	光村委員と吉田委員をお願いします。
北野教育長	続いて3番の行政報告です。 (資料にて説明)
事務局	続いて教育総務課から順次報告をお願いします。 (資料にて説明)
北野教育長	教育総務課の報告が終わりましたので一旦皆さんの方から質問を受けます。何かございますか。
光村委員	まず小学校の卒業式の服装なんですけど、確かに学校側からしたら問題はないとは思いますが、北条小学校の卒業式に出た時に袴にブーツを履いている子どもさんがおられて、やっぱり卒業式は学校の指定された上履きのシューズをはいた方がよいのではないかと思います。ブーツはヒールの関係で階段を上がったりに危ないのでそこは注意しておいた方がよいと思います。
事務局	分かりました。見られたのは北条小でしょうか。
光村委員	はい。北条小でした。大栄小は見えていません。
事務局	学校の方に伝えておきます。
光村委員	それと資料にあります生徒の問題行動の恐喝の件について詳しく伺えますか。
事務局	ナイフを出して振り回したり、切りつけたりという事は聞いていません。勢いで出したのかな。と思いますが。
光村委員	ナイフというのはどういう物ですか。
事務局	カッターナイフです。
光村委員	工作等で使うカッターナイフなんですね。
事務局	はい。そうです。ただ学校ではそもそも個人で持ってこさせることはないと思います。
事務局	図工で使う場合はもちろんありますが、そういうものは学校で管理しています。個人の机に入っている物ではないです。

竹信委員 事務局 竹信委員 事務局 竹信委員

という事は私物という事ではないという事ですか。
いえ。私物だと。持って来ちゃっているという事です。
ではそれを持って体育の時間ですか？
休憩時間ですね。
その休憩時間は席から離れていたのに、カッターナイフを持ち歩いていたという・所持していたという事ですね。登下校中も持ち歩いていた(所持していた)という事ですね。どのように聞き取りをされたかは分かりませんが、それは、ちょっと厳しい指導が必要ではありませんか。持って来ている経緯は分かりませんが、刃の細い物から太いものまで形状もたくさんありますけど、学校に持ってくる物の持ち物のルールを対象の児童だけでなく全校生徒を対象として指導していかれた方が良いと思います。
また、刃物を向けられた方の生徒はかなり恐怖心・不安感を持ったと思いますし、当然その精神的な所へのサポートはされていると思いますが…。

光村委員 事務局 事務局

先生が直接目撃されたのですか。それとも生徒からの報告ですか。
そこまで詳しくは報告を受けておりません。
私が詳しく聞いた話ですと、対象児が友達に貸していて、その休憩時間に返してもらった時にその状況が起きたようなんです。
それもこの問題の聞き取りで出てきたわけでは無く、このナイフを出した児童はよく人から物を頼まれると断れないような友達に振り回されやすい子のように、友達が欲しいけど人間関係の構築に少し問題を抱えているようです。

事務局 事務局 竹信委員 事務局 竹信委員

持ってきた理由は分からないんですね。
ナイフが出てきた状況のみですね。
カッターナイフはその日だけ持って来ていたんですかね。
たまたまだと。人を傷つけようと思って持って来ていたわけでは無いようです。
そのような意図はなく、たまたまだったとしても凶工等で使う予定や先生からの指示があったわけでは無いものを持って来ていたのであればやはり必要のないものは持ってこないように指導する必要があると思います。

事務局

学校の方ではもちろん指導はされているとは思いますが、委員さんからも心配の声が出ている旨を伝えておきます。

徳岡委員

資料を見ていたら『恐喝』という文言が使われていたので、言葉での事かと思いました。しかしこの状況も偶発的に起きた事かもしれないのでね。恐喝だと計画的にしたことのように捉えてしまうので。

光村委員

理由は色々かもしれませんがまず問題なのはカッターナイフを所持している事が問題だし、偶発的にしても人に刃を向けるという事、その行為自体が問題だと思うので、理由は色々あるかもしれませんが、その辺の事情を詳しく聞いて頂いて、全体で管理や指導をして頂きたいと思っています。

事務局 竹信委員 事務局

分かりました。
盗撮の件は男子が女子を撮ったという事ですか。
はい。男子生徒が女子生徒の更衣室にという事のようなようです。

竹信委員 それはカメラですか。

事務局 はい。カメラです。

竹信委員 そういう風に男子生徒が自由に女子更衣室に入れるんですかね。要するに休憩時間とかに入ろうと思ったら入れるような状態になっているのであればそれは学校の管理の問題ですよ。そんな更衣室って普段使わない。使う時でないと思わないと思わないと思うんだけど。

事務局 体育館の更衣室は鍵はせず常に開いてるかと…

竹信委員 開いてるんですかずっと。でもそこで女子生徒が更衣するという事は分かっているんですよ。そしたらこのような問題が起これば当然利用時以外は施錠をするような対応をとられるんですよ。

事務局 鍵の話までは出ておりません。

竹信委員 出てないんですね。普段から入ってはいけない場所ではないんですか。誰が利用してもいいんですか。

事務局 基本的には女子生徒の更衣に使う場所になっています。

竹信委員 ではその場所は女子生徒が更衣に使い場所になっているという事ですよ。

事務局 はい。更衣は体育の授業時しか思いつきませんが。

竹信委員 そうなるとこのような問題が頻繁に起きる事もないでしょうが、起きてしまったのであればやはり何かしらの対応をされた方が良くと思います。注意喚起したからといって今後このようなことが絶対起きないとは限らないです。常に施錠をして更衣前に教職員が鍵を開けるとか。今回の案件についてまだ報告段階で詳細な状況を把握出来てませんので、少し時間を頂いて検討したいと思います。

事務局 わざわざカメラを持って来てという段階からでしょうか。日頃から持ち歩いているのであればそれは不要物です。

北野教育長 真相は定かでは無いですがその男子生徒がネット上で第三者に要求されたと。映像を撮って送れと。で最初は断っていたんだけど断れなくなって、朝の1限の体育の前にカメラを更衣室の分かる場所にわざと見つかるように置いたと。女子生徒が入室した時点で分かるように。それを発見してすぐ職員に報告が来たという風に少し聞いてはおります。

事務局 それで直ぐに警察にも入ってもらってますよね。

事務局 はい。

北野教育長 それで直ぐに全校生徒対象に話をして、対象の男子生徒が申し出てきたとの事です。

光村委員 やれと指示をしてきた人は特定できているんですか。

事務局 いいえ。

光村委員 そちらの方が問題ですよ。

北野教育長 まだその話自体が本当かどうかの確認をしている段階だという所です。

竹信委員 特色ある学校づくりの所で病気療養している生徒さんを対象に orihime システムを活用して授業参加をしてもらう事はとてもいい事だとは思いますが、不登校児童の参加も対象ですか。

事務局 はい。そうですね。不登校児童の自宅からの参加や学校での別室参加の活用も入っております。

竹信委員 これは何台購入されるんですか。

事務局
竹信委員 1台です。
1台ですか。そうするとこれは特色ある学校の提案ではなく、効果があれば各学校に取り入れますよとか。逆にもうこのシステムは特別支援学校等で導入されてますよね。特に病気による長期療養においてはとても効果的だと思うんですが、不登校児童対象となるとその個体数分必要になってきますよね。

事務局
竹信委員 システムは違ったかもしれませんがいじめ・不登校対策センターからの貸し出しもあります。ただ不登校児童も対象というのをやりだすのは本当に対応できるんですかね。不登校児童の家庭にもすべて設置したりとか、例えば中央高等学園に通えるようになった生徒さんはシステム利用は無しでとか…どういう風にやっていくのがいいんですかね。大栄中学校だけが取り組む特色ある学校づくりの取り組みなのかなど。効果があれば各学校が採用したらいいだけでしょう。で、病気療養もどのくらいの期間を想定したものかと。1カ月なのか3か月なのか。まさか1週間単位で導入ではあまり意味が無いように思えますし。何を・どれくらいと具体的に想定しているのか。学年にもよるでしょうし。

事務局 あまり細かいところまでまだ決めておりません。以前の経験で大栄中学校だったかと思いますが、修学旅行に参加できなかった生徒の代理にorihimeを修学旅行に同行させて、カメラを通じて体験をしてもらったり、もう1件病院に入院した生徒さんにはタブレットを活用しリモート授業を聞いてもらったりとある程度数週間の療養に対しての活用が有効だったと考えております。また不登校に対しては「学校自体に行きたくない。」生徒もいれば「行きたいんだけど行けない。」生徒もいます。行きたいんだけど行けない生徒にはこのような機器というのは有効ではないかと考えます。行きたくない子にこの機器を提供したからといって参加してくれるのは難しいのかなどは思っています。各々に合った形で進めていくのがいいとは思いますが、行きたいのに行けないという生徒の手段としては有効なのかと思いますし当然大栄中学校だけではなくて有効な手法だという事が確定しましたら他の学校への導入を考えてそれが魅力ある・特色のある園、学校づくりに繋がっていくと考えております。

竹信委員 いいことはいいと思います。自宅に居ながら学習の遅れを取り戻したりと。ただ個別ばっかりの対応になりすぎるのかと。自宅からの参加ばかりを見るのではなくフリースクールへの場所へ行く事を促したりしていかないと不登校児童へ安易に利用していくのはどうかと思います。難しい所ですけどね。選びながらいい方法を提案しながらですよ。

北野教育長
事務局 報告に戻りたいと思います。続いて生涯学習課からお願いします。
(資料にて説明)

北野教育長 報告が終わりましたので皆さんの方から質問を受けます。特に無いようですので4. 議案に移りたいと思います。
議案第 31 号 北栄町人権を尊重するまちづくり審議会規則の一部を改正する規則の制定について

事務局 (資料にて説明)

北野教育長
竹信委員 ご意見・ご質問等皆さんございますか。
今回北栄町身体障がい者福祉協会が解散という形になったという事ですが、そうなることと今後はどのような形で意見が反映してくるんですか。

事務局 この名称の組織は無くなりますが、社会福祉協議会の方ですとか、精神障がい者家族会ですとか、ひまわり会など様々な会がありますのでそういった所から話を伺ったり、最終的にはパブリックコメント等も取っていくとは思いますが、まちづくり推進計画の協議をする中でご意見を聞いていきます。

竹信委員 身体障がい者という事は聴覚・視覚・肢体不自由といったものの団体ですか。

事務局 そうですね。

竹信委員 それぞれの障がいに対する団体はないんですね。

事務局 そうですね。

竹信委員 そうなると社会福祉協議会の方がそれぞれの障がいがある方の意見を拾って来れるんですかね。例えば視覚障がい者の団体があるのはあるんですよね。県の視覚・聴覚団体とか。

事務局 県ではあると思います。

竹信委員 じゃあ町には無いってことですよ。

事務局 はい。

竹信委員 そうするとそういう方々の声というのは、パブリックコメントも取るとしても福祉協議会ですとか各会からきちんと意見を拾い上げて審議会へ出て来るんですよ。

事務局 その点についてもそういう方からの声が拾えるようにどういった形になるか分かりませんが、組織が無くなるという事で何かしらの配慮といいますが、全く声が届かないというのはよくないと思っておりますので、今すぐその方法を示すことができませんが考えていこうと思っております。

竹信委員 可能な限りそういう直接的な声も聞けるような形を取って頂いた方が、またパブリックコメントとは違った視点の意見を聞くことも人権を尊重するという所に繋がってくると思いますのでぜひ反映する形の構築をお願いします。

北野教育長 他にご意見・ご質問等ございますか。ではこの議案では障がいがある方の声を反映できるように望むというご意見という事で進めたいと思います。

事務局 続きまして議案第 32 号 北栄町区域外学校通学者給食費負担軽減給付金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
(資料にて説明)

北野教育長 ご意見・ご質問等皆さんございますか。(なし)
議案第 32 号について、承認でよろしいでしょうか。(承認)
5 協議事項へ入ります。
北栄町民生委員推薦会委員の推薦について

事務局 (資料にて説明)

北野教育長 この会で決めるという事でよろしいでしょうか。

事務局 はい。

光村委員 継続でいいですよ。

北野教育長 では光村委員に継続で受けていただくという事でお願いしたいと思っております。
北栄町教育振興計画の改訂について

事務局 (資料にて説明)

北野教育長 長い時間の説明となりましたがご意見・ご質問等皆さんございますか。

光村委員 まず最初資料見え消し版の2ページ目の中央辺りで第2期は平成30年から令和3年かと思いますが。

事務局 令和3年が正しいです。修正いたします。

光村委員 続いて22ページの表、不登校児童生徒の出現率という所の指標が載っておりまして目標値が『全国・県平均以下』とされてますが実際北栄町として不登校をなんとか解消しようと思って先生方も努力してもらっていて、学校訪問時には不登校児の人数の報告も受けているんですが、それこそ全国・県の平均値を下回っているからいいという問題ではないと思うので前年より人数が少なくなったことが分かるような前年比で表記した方が目標としてはいいのではないかと思うのですが。全国・県の平均より下回っているし、町としては去年より増えたけどまあいいかという評価ではなくてね。どうですかね。

北野教育長 皆さんはどうですか。

光村委員 同じように運動能力調査の目標値もですが。前は%表記だったんですね。

事務局 そうですね。前回の運動能力調査に関しては前年と比較するような形だったかと思いません。

光村委員 確かに全国・県平均より上回った下回ったは評価がしやすいしやりやすいでしょうが町としてそれでいいのかなど。

竹信委員 例えば第2期・第3期となった時に目標を設定するのはいいんですが、根拠に基づいた設定ですよ。要するにそれぞれ人権だとかに関係する方々もその中でこの目標に令和7年度には到達するんだと。じゃあ到達できなかつたら丸もバツもないし次の年に予算が減るわけでもないし。ただ書いていただけじゃないのってなってしまう。全国学力調査にしても6年生と中3年だからこうってことではなく、私は2年生が4年後にはこういう風に伸びていくんですよという風な具体的に段階を踏みながら割合を増やしていくような書き方のほうがいいような。やっぱり子どもが変われば実態も変わるわけで。だから今の評価の仕方だと一過性のものですよね。子どもが1年1年どうなったかではなくて、その時の評価にあたった学年の事を調査して目標が達成できたか出来なかったかを出しているのですね。なんだかあんまり意味が無いような気がしてね。それだったらきちんと右肩上がり力で力を付けていくんですよ。で、それぞれの学年もそのような目標から評価をしていった方がいいのではないのでしょうか。不登校にしてもゼロに近づけていきたい。ではなくて、支援が必要な子どもが増えて現状は支援級や通級で対応している。ではなくてきちんと発達の検査をして、その検査に基づいた数値や検査内容を精査して的確な進路の提案や配置が出来たかどうかという評価の方が良いような気がします。人数が増えた減ったではなくてね。という感想を持ちました。やっぱり責任が無いんですよ申し訳ないけど。担当の課の課長さんが集約してある程度根拠に基づいた、またこれからは児童生徒数が減ってくる・町民も減ってくるのが分かって図書館利用数が減っている根拠としての的確で妥当であれば問題ないんですよ。なかなか計画の表記内容を変えるのは変えにくいでしょうから。

北野教育長 事務局 目標値は前年度比で表記した方が良いという事ですが、年度ごとの数値的なものは確認できるにしても記載の仕方としては毎年の記載はしないです。

竹信委員 でも評価するところが無いんですよ。各事業のA～Dで評価をするものはあるにしてもそれ以上のものはないですよ。予算を削減するとか減っては困るみたいとか…70%を切ったらとかはないんですよ。

北野教育長 事務局 ある程度指標を決める段階には人口や色んな背景を踏まえて検討を進めていたわけですが、今の出てきた意見ですと指標について全国や県の平均を基準にするのではなく、本町のまた前年とを比べていくという事と不登校児童を限りなくゼロに近づけていくということでしょうか。

事務局 もし光村委員さんのおっしゃる通りにした場合に令和7年度の数値の記載の仕方は令和3年度を下回るような記載ではなく、令和6年度を下回るような表記の仕方の方が良いですかね。

光村委員 事務局 そうですね。前年度比を基準にするのであれば、その方がよろしければ変えさせていただきます。

吉田委員 北野教育長 吉田委員 どちらかといえば両方見れたら助かるかなって感じました。全国・県と町とで。それは上がり下がりをする事ですか。

北野教育長 吉田委員 そうですね。町としての達成率の可否を見ていく方が先程言われていたその時の子どもを見ていくという部分においても意味があるのではないかと思います。

北野教育長 徳岡委員 その他ありますか。私は年度ごとではなく、ターゲットがそこしかないじゃないですか。間の事ってなかなか見れないので全国・県を基準に見れたらいいのではないかと思います。逆に全国・県を指標に見れたらいいかなとも思います。極論で申しますと色んな市町村で違ってしまっただけどこれはこれ。それはそれと割り切ってしまう方がいいのかと。民間企業だと結果が出なければ担当が責任を取る・予算を削るとかの形になるでしょうが、役所での事ですとそんなわけにもならないし、3年4年と変わった時に内にいる職員さんも変わってしまうわけなので責任というところでは難しい部分もありますのでその場合だと今の記載・評価の仕方にせざるを得ないのかなと思います。これで判断しようと思っても出来るものではないので。これはあくまで4年後の結果を示すものであって前年比を比べて議論するための指標ではないと思います。

吉田委員 徳岡委員 何が見たいかですよ。そのさっき言われたように数値が減少していればいいんだけど、それはこの委員会でも少しでも数値を減らしていこうと毎月話している中で結果を求めていかないと。と個人的には思います。

北野教育長 徳岡委員 北野教育長 事務局 今の話している内容は表記の仕方ですよ。そうです。それは私はこのままでいいと思います。その数値の部分に関しては毎年出るんですかね。過去のものは今提示している資料を見ていただいて分かるように記載されてますし、毎

年毎年度年度で数値が出ますので確認は出来ます。

北野教育長 学力状況調査も不登校児童出現率も運動能力調査の結果も毎年数値としては出て来て比べる事は出来るんですよ。

事務局 はい。

竹信委員 北栄町が教育の町だと掲げているしそういう風に言っているんだけど、何をもってして教育の町なんでしょうか。学力をしっかりと付けているんだととかね。秋田県のように全国・県の学力水準を上回っているとか。県内でも北栄町が1位なんだとかね。ならどこを見てもらえばいいのか。家庭生活においても力を入れているとか参観日に町民がこぞって見に来て教育に進んで参加しているんだ。みたいないくつかのポイントでもう教育の町だと胸を張って言えるんだと。琴浦とか三朝だとか倉吉よりも北栄町は秀でていう風にね言われるようにね。『これ』をもってしてというのが何なのかなって思いました。一生懸命やっているんですよ。でも結局「北栄町に移住して教育を受けたい！！」という風に外から見てもそう言ってもらえる街にしていこうと思ったらこの令和7年度の目標がこういう事を掲げてこれを達成しようとしていると。で年次的にはそれぞれ目標を立てていますよということでもいいんですかね。

北野教育長 この計画の中にそれを示すべきかどうか。という問題もありますよね。それを裏付けるようなものがあつた方が良いような気もしますし、大筋としては4年ごとの比較となってくるでしょうし。そもそも平均以上以下にするとか限りなく目指す方向をこの文章で表すのかっていう所を考えてみてはどうでしょうか。

竹信委員 町として北栄町は教育の町だと言われるのであれば色々な取り組みをしてもそれは外部の人には分からないじゃないですか。そうすると外部の人がまず見れるのはホームページ上で閲覧できるこの振興計画じゃないですか。これを見て教育の町なんだなあつとみて北栄町は子どもに力を付けてくれるんだあつと思ってもらえるぐらいのものじゃないと。

光村委員 この振興計画が、北栄町の教育委員会が目指すところなんですよ。その目指す目標値がちょっとあまりにも生ぬるいんじゃないのかと。厳しい事を言いますがちょっと緩いんじゃないのかと感じたので、先程の前年比の件で発言したのは全国・県平均を上回るだけでいいのかなと思ったので意見を言わせていただいたんです。

北野教育長 今の発言に事務局はどう考えますか。

事務局 表記については先程ご意見をまとめさせていただいた通り前年比も踏まえての記載方法が良いと思っています。またその後の吉田委員の発言に関してはどのように載せていくのがいいのか思案している所です。なかなか目標が両立出来ない所もあるので。「平均以上且つ現状以上」という事になるのかなと思います。

光村委員 平均値がみたいという事であれば毎年出るから確認が出来るんじゃないですかね。

事務局 またちょうど全国平均値に近い所に本町の数値があるので見やすいんじゃないですかね。大きく上回っている下回っているという所で見るのであれば特に平均値を気にする必要は無いように思います。また近いからこそ似たような目標になってしまったかと思えます。考え方としては光村委員の考えはもっともだと思っていたところです。

竹信委員 全国・県平均でいいですよ。とは思わないですよ普通は。ね。もうちょっと上をと考えますよね。だってせっかく秋田に2年間視察に行ってみてこられたんですよ。そこでこの家庭生活や習慣の必要性を感じてこられたんでしょ。

北野教育長 では21ページの表の表記の仕方から話し合しましょう。

竹信委員 前年度以上じゃ分からないですよ。

光村委員 学生が違いますからね。

竹信委員 ですよ。だとすると具体的な目標の方が良いのではないのでしょうか。あ、これは正答率だから%ですね。そうなると何%にするかですね。設定するにしても根拠は無いんですよ。

事務局 小6・中3の令和3年度の%なら9ページに詳しく出てますが。

光村委員 やはりそうなると今提示されているようなのがいいんですかね。

事務局 大抵的に聞かれるのはやはり全国平均との比較になりますので…

光村委員 そうなるとやはり正答率となるとこれがベストという事になっちゃうんですかね。

竹信委員 いいんじゃないでしょうか。

光村委員 私は不登校のところが気になって。

北野教育長 では学力の所はこのままで進めます。続いて不登校児童生徒出現率について

光村委員 年々高くなっているじゃないですか。小学校も中学校も。全国・県を上回って。これはなんか北栄町としての取り組みを打ち出した方がいいのかなって思うんですけどね。令和3年度より何%減少させるとか。

竹信委員 人数じゃダメなんですかね。%だと1人が占める割合が大きくなるんですよ。

北野教育長 北栄町は令和2年度と3年度がどんと増加しているんですよ。出現率が。せめて令和元年の数値を目指すとかね。ゼロに近い方がいいのはいいでしょうが、状況として明らかに課題が見えているので。

事務局 具体的な%を表示した方がいいですか。

北野教育長 その方が分かりやすいというか。

徳岡委員 目標値を令和元年度を目指すということ。令和元年度は全国・県よりも低いですからね。令和2年からすごい勢いで上がってますね。

北野教育長 これ小学校が上がっているから中学校にも影響が出ますね。

竹信委員 北条中学校は去年8%って計画訪問の時言っておられたでしょう。すごい高いですよ。まあ卒業されたら下がるかもしれませんが。表示は具体的な%にしましょう。

北野教育長 では不登校の出現率にしては令和元年度の数字を表示ということで。続いて運動能力調査の目標値表示はいかがでしょうか。

10ページの運動能力の所を見ると全国・県を下回るものが表示されているのですが、下回る種目の数を幾つみたいなのはどうでしょうか。

光村委員 この23ページの資料の見え直し修正されている令和3年度の所を書いてある%はどこからの数値ですか。以前のですか。

事務局 以前(平成29年度)の計画の時の表記です。

光村委員 これは計画の数値ですか。

事務局 前回の計画の数値はこの見え消しで出させてもらっています。

光村委員 で、こんな高い計画だけど実際は10ページの小学5年生男子は49.05%ということですか。

竹信委員 これは得点ですね。

光村委員 あ、得点だから%ではないんですね。

北野教育長 これは幅が決めてあってその範囲に入るかどうかを記録や得点を数値化して%を決めているんです。

光村委員 ではこれは全然違うものなんですね。

竹信委員 この時の5年生男子はほとんどの種目が下回っているんですね。

光村委員 今年の6年生ですよ。

北野教育長 何かいい表現の仕方はありませんでしょうか。

光村委員 そうなるとこれしかないのかなという気がしてきました。

竹信委員 とうかこれはスポーツテストなので各々の競技を練習している訳じゃないじゃないですか。色んな運動から体づくりをしていって、テストでこの競技で評価しているだけなので。

北野教育長 全国も設定している学年の生徒をずっと追いかけているわけではないので、このままのやり方をするという事でいこうと思います。

事務局 では表記の仕方は不登校の所以外はこのままでいくという事でよろしいでしょうか。

北野教育長 それ以外の所でご意見・ご質問等皆さんございますか。

竹信委員 33ページの上の表で空欄になっている所がありました。

事務局 前ページからの続きになりますので、そちらを見て頂けたらと思います。

北野教育長 しっかり検討するには時間が短いように感じますが、今のようなところでまとめさせてもらってもよろしいでしょうか。

事務局 資料にて計画の提案をされていてなんですが、もう一度数値の修正や文面を変更することを委員の皆さんにあらかじめご了承を先にいただいてもよろしいでしょうか。

委員(4名) 了承

北野教育長 続きまして2022年度教育委員視察研修について

事務局 (資料にて説明)

北野教育長 実施の可否と実施の場合の場所の選定を行います。

竹信委員 感染症の状況が落ち着けばね。

徳岡委員 そうですね。落ち着けばという条件付きでの実施ならいいかと。

竹信委員 準備だけはしといたらいいのではないですかね。

吉田委員 県内の移動については特に制限は無いようなので1日程度の視察だったら感染症対策をして行ってもいいのではと思います。ちなみに私は今年から委員に参加させて頂いたので1回も参加したことがないので、せっかくなので1回は行ってみたいです。

光村委員 県内限定ですか。

事務局 いえそんなことはありません。行動制限も出ていませんので。

光村委員 ただ日帰りですかね。

事務局 そんなことありませんので、もしどこかご提案がありましたら検討させていただきます。

吉田委員 私は不登校の対策に興味があるので行けるならどこでもいいです。

光村委員 不登校の対策で去年も視察を検討していたんですが、実際に不登校への対策をして、出現率が下がったり、予防をしていたりという成果が出ている所に行ってみたいです。

事務局 もう少し事務局でも今言われたことを踏まえて候補地を探してみたいと思います。

光村委員 以前北野教育長が話されていた赤碕の地域ぐるみで交流しているようなことをしている所とかね。

北野教育長 ではテーマは不登校対策で、少し先程の話の内容を踏まえて視察先を検討するという事でよろしいでしょうか。

事務局 また検討いたしまして視察先・スケジュールについては定例会で報告させていただきます。

北野教育長 西暦表記について

事務局 (資料にて説明)

竹信委員 教育委員会事務局での表記変更の提案ですがその他の課の文章はどうなんですか。

事務局 現在庁舎内では基本的に和暦を使用しております。

竹信委員 先日学校訪問に行かせて頂いた時にその表記が先生によってバラバラで西暦や和暦がミックスしてました。基本的に学校から発行される文章においては校長先生が確認されると思いますがそれでもこの状況です。それを見てやっぱりある程度揃えた方がいいと感じていたので、今回は教育委員会事務局からの提案ですが私はいいと思います。公民館から出るものも統一されるんですね。

事務局 今回は事務局からの提案となりますが、基本的には北栄町教育委員会がという意味です。という事は事務局に関わる公民館や図書館も和暦にされるということですよ。

竹信委員 状況と表記による混乱が解消されてきたという事で和暦に戻すという事でよろしいでしょうか。

北野教育長 委員(4名) 承認。

北野教育長 6. 報告

事務局 新規 ALT の就任について
(資料にて説明)

北野教育長 6月議会一般質問答弁について

事務局 (資料にて説明)

竹信委員 質問いいですか。現在物価高で食品の価格が上がっていて、給食の食材も上がっていて苦労されているとは思いますが、1週間に1回だけパンの日がありますよね。あれを今後米粉を利用されるとかは無いんですかね。前に出た事はあるんですが。そうしたら小麦の高騰に対応して、パンの価格の上昇が抑えられるのではないかと思うんですが。変わらないですかね。

事務局 買う小麦粉が高騰したからといって米粉の価格と逆転することは無いと思います。米粉の方が10倍まではいきませんが高いです。

徳岡委員 米粉パンってことですよ。

竹信委員 米はほんと安いですよ。あ、個人消費者として購入する場合は違いますが。農家は1町作っても儲けはほとんど無いですよ。赤字ですよ。気の毒です。それを原価では無くてもなんとか安く購入できればと思うんですが。

事務局 何十年前の話になってしまいますが、米粉が出始めた当初は製粉技術が大変だったという話があります。

竹信委員 今は近くにある調理施設サラダハウスにも米粉に出来る機械があるような時代ですがね。まあ数が数だけになんとか出来ないだろうかと思ひましてね。

光村委員 やっぱりご飯ですよ。米ですよ米。みんな米。

徳岡委員 そうなった時はこども園みたいに子どもに家からご飯持ってこさせるとか米持って来てもらうんですよ。

光村委員 いや。家からごはん持って来てもらうなら給食でいいんじゃないですか。

竹信委員 でも給食のパンを無くしてごはんにしても安くならないんですよ。結局米を購入するんだから。米の値段は下がらないし。

北野教育長 量が量ですからね。何とかならないですかね。農家は大変なのにね。

竹信委員 全国的な課題かもしれないですね。

光村委員 そうというのがね。契約的に作っていくとか。花もそうじゃないですか。計画形成で。

北野教育長 町を上げて米を作って消費するというのですよね。

7 その他(説明)です。

次回定例会の日程第7回定例会7月26日(火)13時30分から
以上で、第6回教育委員会定例会を閉会いたします。

(閉会) 午後3時45分

令和 年 月 日

会議録署名委員

会議録署名委員